

平成19年度「阿蘇海環境づくり協働会議」活動報告

阿蘇海環境づくり協働会議(本会議)

- 5月29日 設立
- 11月20日 中間報告(京都大学調査、実務者会議)
- 3月19日 最終報告(京都大学調査、実務者会議)、20年度の取組計画

阿蘇海環境づくり協働会議(実務者会議)

- ◎ 第1回実務者会議(6月26日)において、京都府・宮津市・与謝野町の実務担当者が阿蘇海環境改善に係る課題を整理。
- ◎ 整理した課題は、生活系・農業系・商工系・自然系・その他系に分類し、分野毎に関係者で協議。

生活系

10月3日

【課題】

- 生活排水が河川を通じて阿蘇海へ流入
- 上流域河川敷の葦・刈り取った草の放置
- 河川へのゴミ投棄・放置
- 住民の環境意識の高揚

【対策】

- 下水道の普及促進
- ゴミや葦の阿蘇海流入防止措置の検討
- ゴミ不法投棄防止看板
- 住民啓発用広報作成
- 住民協働による環境改善の取組(有用微生物などによる環境改善のモデル実施の検討)

農業系

8月30日

【課題】

- 肥料(窒素・リン)の流入
- 代かき時の濁水流出
- 稲刈り後のわらの流入
- 森林荒廃による流域の影響
- 農業者の環境意識の高揚

【対策】

- エコファーマー制度や環境に配慮した特別栽培農産物の推進
- 人工林の適正管理
- 「阿蘇海の環境改善」という観点からの農業者への啓発
(1月16日・与謝野町担い手認定農業者)

自然・その他系

7月9日

【課題】

- 阿蘇海及び野田川の水質について環境基準が達成されていない
- アオサの除去対策
- カキの除去対策
- ヘドロ対策
- 富栄養化(窒素・リン)対策
- 湾内漁業の復興
- 阿蘇海水質改善に係る影響評価と将来予測調査(野田川からの流入負荷の実態把握)

【対策】

- アオサについて地域と行政が連携して回収に当たり、処分については農業者が受け入れ、たい肥として利用する仕組みを構築(9月28日・12月16日、大垣海岸清掃)
- 清掃活動ボランティア作業のシステム化

商工系

1月30日

【課題】

- 工場排水の影響の有無
- 商業施設の排水の影響の有無
- 洗車機を有している店舗の排水の影響の有無

【対策】

- 下水道普及促進
- 商工団体広報紙等を活用し、阿蘇海環境改善に向けた啓発活動の展開

阿蘇海水質改善に向けた汚濁負荷源の影響評価と将来予測

京都大学に調査委託。野田川流域における様々な生産活動から生じる汚濁物質と阿蘇海の環境悪化の因果関係を調査・解明し、将来予測を行う。